

令和7年度	当初実施設計書				公益財団法人とちぎ建設技術センター											
単 独	設 計 理 由	機械設備の機能維持のため本工事を要す		工期	令和8(2026)年3月10日限り	契約方法	一般競争入札									
契 約 番 号		工 事 番 号	07-02-03	設計書番号												
工 事 名	原宿マンホールポンプ場外機械設備修繕工事															
路 河 川 名	巴波川流域下水道															
工 事 概 要																
<table><thead><tr><th>工種名</th><th>数量</th><th>単位</th></tr></thead><tbody><tr><td>No.1主ポンプ修繕工</td><td>1</td><td>式</td></tr><tr><td>次亜塩素酸ナトリウムタンク修繕工</td><td>1</td><td>式</td></tr></tbody></table>								工種名	数量	単位	No.1主ポンプ修繕工	1	式	次亜塩素酸ナトリウムタンク修繕工	1	式
工種名	数量	単位														
No.1主ポンプ修繕工	1	式														
次亜塩素酸ナトリウムタンク修繕工	1	式														
週休二日制工事：受注者希望型						余裕期間制度：任意着手方式										
						単価地区	栃木土木事務所 管内									

数量総括表(設計書)

1ページ

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
本工事費					
原宿マンホールポンプ場外機械設備修繕工事					
No.1主ポンプ修繕工(原宿マンホールポンプ場内)					施工箇所が点在する工事 親設計書 栃木土木事務所管内
機器費					
機器費					
水中ポンプ	1. 98m ³ /分	台		1	
機器調整費		式		1	
直接工事費					
労務費					
一般労務費					
普通作業員		人			
電工		人			
設備機械工		人			
直接経費					
機械経費(率分)					
機械経費	率分	式		1	
機械経費(積上分)					
トラッククレーン	4. 9t吊	日		2	

数量総括表(設計書)

2ページ

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
仮設費					
仮設費(率分)					
仮設費	率分	式		1	
直接工事費計					
間接工事費					
共通仮設費					
共通仮設費(率分)					
共通仮設費	率分	式		1	
準備費(積上分)					
産業廃棄物処分費	No.1主ポンプ関連	式		1	
純工事費					
現場管理費					
現場管理費(率分)					
現場管理費	率分	式		1	
間接工事費計					
工事原価	No.1主ポンプ修繕工				親設計書

数量総括表(設計書)

3ページ

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
次亜塩素酸ナトリウムタンク修繕工 (巴波川浄化センター内)					子1設計書 栃木土木事務所管内
機器費					
機器費					
ポリエチレンタンク	8㎡	槽		1	
直接工事費					
材料費					
直接材料費					
ダイヤフラムバルブ	10K25A ボディ:U-PVC シール:PTFE	個		5	
ダイヤフラムバルブ	10K65A ボディ:U-PVC シール:PTFE	個		1	
ダイヤフラムバルブ	10K80A ボディ:U-PVC シール:PTFE	個		1	
可とうフランジ	10K25A ユーフレックス フランジ部SUS	個		1	
可とうフランジ	10K65A ユーフレックス フランジ部SUS	個		1	
可とうフランジ	10K80A ユーフレックス フランジ部SUS	個		1	
Yストレーナー フランジ型	10K25A ボディ:U-PVC シール:PTFE	個		1	
補助材料費					
補助材料費	率分	式		1	
労務費					
一般労務費					
設備機械工		人			

数量総括表(設計書)

4ページ

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
配管工 機械設備据付労務費		人			
機械設備据付工 複合工費		人			
タンク基礎工事	既存基礎の改修 メッシュシート敷き込み・耐熱品 塗装	式		1	
処理水配管工事	既設SGP処理水配管一次撤去、改造復旧	式		1	
タンク液位計移設工事 直接経費	電極棒撤去、液位電送機移設	式		1	
機械経費(率分)					
機械経費 機械経費(積上分)	率分	式		1	
ラフタークレーン 仮設費	16t	日		1	
仮設費(率分)					
仮設費 直接工事費計	率分	式		1	
間接工事費					
共通仮設費					
共通仮設費(率分)					

数量総括表(設計書)

5ページ

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
共通仮設費 準備費(積上分)	率分	式		1	
産業廃棄物処分費 純工事費	次亜塩素酸ナトリウムタンク関連	式		1	
現場管理費 現場管理費(率分)					
現場管理費 据付間接費	率分	式		1	
据付間接費					
据付間接費 間接工事費計	率分	式		1	
据付工事原価 工事原価					子1設計書
次亜塩素酸ナトリウムタンク修繕工 計(工事原価)					親設計書、子1設計書の計
一般管理費等 一般管理費等(率分)					
一般管理費等 契約保証費	率分	式		1	
契約保証費	率分	式		1	

数量総括表(設計書)

[illegible]

特記仕様書

(原宿マンホールポンプ場 外 機械設備修繕工事)

第 1 章 総 則

第 1 条 (適用)

- 1 この仕様書は、巴波川浄化センターの「原宿マンホールポンプ場 外 機械設備修繕工事」に適用するもので、その実施にあたっては「栃木県土木工事共通仕様書」、「栃木県土木工事施工管理基準」、「機械設備工事標準仕様書」、「機械設備工事一般仕様書」、「電気設備工事一般仕様書」、「契約書」に準拠するとともに、本仕様書により施工するものとする。

ただし、本仕様書と共通仕様書が重複する条項で内容が一致しない場合は、本仕様書が優先する。

第 2 条 (対象設備及び工事場所)

対象設備及び工事場所は以下のとおり。

(1) 設備名

原宿マンホールポンプ場 水中ポンプNo.1 (新規交換)
荏原製作所製：150DSMZ 11KW 3φ200V
1.98m³/分 × 17.7mH
栃木県栃木市都賀町原宿地内

(2) 設備名

次亜塩素酸ナトリウムタンク (新規交換)
現FRPタンク 8m³ 撤去
新PETタンク 8m³ 据付
巴波川浄化センター 栃木県栃木市城内町 2-57-62

第 3 条 (安全管理)

- 1 請負者は、工事の実施にあたり栃木県土木工事等施工技術安全指針及び保安、公衆衛生等に関する諸法規を厳守するとともに工事の安全に留意し、災害、事故等の防止に努めなければならない。
- 2 工事計画に影響を与える事故及び人命に係わる事故、若しくは第三者に損害を与える事故が発生した時は、応急処置を講ずるとともに、遅滞なくその状況を監督員に報告しなければならない。

第 4 条 (提出書類)

- 1 請負者は、工事に先立ち「施工計画書 (1部)」を提出するものとする。
- 2 請負者は、工事工程計画表、写真及び監督員が指示するものについて作成し提出するものとする。
- 3 工事完成後は図面・写真・その他必要な書類をとりまとめ完成図書として提出す

る。また完成図書に収めた資料は電子化して別途提出する。

第5条（作業の確認等）

請負者は、原則として主要作業の各段階毎に、作業内容及び進捗状況を監督員に報告し、承諾を得たうえで次の作業に進むものとする。また、現地工事中は、週間工程表を前週末までに提出し、他の設備に影響がある作業が発生する場合は前もって監督員と検討するものとする。

第6条（損害の賠償等）

請負者は、浄化センターの土地、工作物等を使用する場合は、浄化センター管理者の承諾を得てから使用するものとする。なお、浄化センターの土地、工作物等を使用した場合は、原形に復旧するものとし、既設構造物及び第三者に損害を与えた場合は、請負者の責任において賠償するものとする。

第7条（資料の貸与）

請負者は、本工事实施に際して設備の資料等の貸与を受けたい時は、監督員に申し出て貸与を受けることができる。なお、貸与を受けた資料は、丁寧に取扱い作業完了後速やかに返却するものとする。

第2章 工事範囲等

第8条（工事範囲）

本工事の範囲は、以下のとおりとする。

（1）現地修繕

- ア 原宿マンホールポンプ場水中ポンプの新規交換
- イ FRP次亜塩素酸ナトリウムタンクの新規（PE）交換
及び必要な配管工事

（2）交換部品の処分

（3）その他、本工事目的のために必要なこと

第9条（交換部品及び材料）

本工事における交換機器及び材料については、発注者指定の規格・サイズのものを使用するものとし、変更が生じた場合は、監督員に報告し指示を受けるものとする。

第10条（工事要領）

- 1 工事は当センターで実施している日常業務に大きな影響を及ぼすことなく、速やかに完了させなければならない。
- 2 工事に従事する作業員は、経験を有する者でなければならない。
- 3 分解、組立等の作業は、手順よく確実にこなわなければならない。
- 4 部品等は、細心の注意を払い破損のないよう取り扱わなければならない。
- 5 据付に際しての消耗部品は、全て交換するものとする。
- 6 本工事の作業環境においては、「電離放射線障害防止規則」に基づき放射線対

策を実施しなければならない管理区域はないが、今後の状況により放射線対策が必要な場合は、別途協議の上対応する。

- 7 施工場所が下水処理場であることに留意し、感染症・衛生対策について適切に実施すること。
- 8 施工にあたっては、大雨・台風等の流量増加が見込まれる時期を勘案の上下水処理に支障のないよう工事実施時期・手順等を検討・計画すること。

第 11 条（材料検査）

本工事に使用する購入部品及び材料は、製造メーカーの品質証明書等で確認ができるものとし、監督員の承諾を得て使用するものとする。また、工事完了時は材料検査成績書を提出するものとする。

第 12 条（試運転試験）

工事完了後は、監督員立会いのうえ試運転試験を実施するものとし、所定の目的が達成されていなければならない。

第 13 条（完成検査）

完成検査は、所定の手続きを経て実施するものとし、その結果の合格をもって引渡しを完了するものとする。

共通特記仕様書

1. この共通特記仕様書は、公益財団法人とちぎ建設技術センターが発注する工事に係る工事請負契約書及び設計図書の内容について、統一的な解釈及び運用を図るとともに、その他必要な事項を定め、もって契約の適正な履行を図るものである。
2. 仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。

(●:適用する ○:適用しない)

項 目	事 項
現場代理人の常駐義務の緩和及び専任の主任技術者の兼任等	○ 1 本工事は、現場代理人及び主任技術者の他工事との兼任は認めない。 ○ 交通量が多い現道上の工事であり、現場の安全管理に特に万全を期す必要がある。 ○ 急傾斜地での工事であり、現場の安全管理に特に万全を期す必要がある。 ○ 当該工事は_____であり、現場代理人が他の工事と兼任した場合、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障があるため、兼任は認めない。 ○ 理由: ● 2 本工事における現場代理人について、以下のすべての要件を満たし、かつ、発注者の承諾を受ければ、他工事との兼任が可能である。ただし、作業工程上、受注者が安全管理や現場の運営・取締りなどの面で、現場代理人の常駐が必要と判断した間は、この限りではない。 （要件） (1) 他工事が、(公財)とちぎ建設技術センターが発注する同一土木事務所管内の工事で、それらの工事の特記仕様書に兼務が可能である旨明記されていること。 (2) 兼任できる箇所は2箇所までとし、本工事及び他工事の請負代金が5,000万円未満であること。 (3) 兼任する工事の請負代金が3,500万円以上の場合、現場代理人が現場から不在となる間、現場の運営・取締りを行える者(以下「連絡員」という。)を選任し、常駐させられること。 ● 3 本工事における主任技術者(監理技術者は除く。)について、以下のすべての要件を満たし、かつ、発注者の承諾を受ければ、他工事との兼任が可能である。 （要件） (1) 他工事が、(公財)とちぎ建設技術センターが発注する同一土木事務所管内の工事で、それらの工事の特記仕様書に兼任が可能である旨明記されていること。 (2) 兼任できる箇所は2箇所までとし、本工事及び他工事の請負代金が5,000万円未満であること。 ※なお、主任技術者を現場ごとに専任で置く必要がある工事は、「公共性のある工作物に関する重要な工事」で、「請負金額が3,500万円以上」の工事をいう。(建設業法第26条第3項及び建設業法施行令第27条) また、発注者から直接請け負った工事のうち4,000万円(※土木工事の場合)以上を下請負契約して工事を施工するときは、主任技術者に代えて「監理技術者」を専任で置かなければならない。(建設業法第26条第3項及び建設業法施行令第2条) ● 4 現場代理人と主任技術者等の兼務は可能である。 ● 5 受注者は、現場代理人又は主任技術者を他工事と兼任したい場合は、「工事打合せ簿」により承諾を受け、他工事の「現場代理人及び主任技術者等(選任・変更)通知書」の提出の際に、当該工事打合せの写しを添付すること。また、連絡員についても、他の工事の上記通知書の提出の際に、その氏名等を届け出ること。
施工箇所が点在する工事	● 施工箇所が点在する工事 1 本工事は、施工箇所が点在する工事であり、共通仮設費及び現場管理費について標準積算と施工実態に乖離が考えられるため、『流域下水道』(施工箇所)、『流域下水道』(施工箇所)ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事積算」を準用する工事である。 2 本工事における共通仮設費の金額は、対象地区ごとに算出した共通仮設費を合計した金額とする。また、現場管理費の金額も同様に、対象地区ごとに算出した現場管理費を合計した金額とする。 なお、共通仮設費率及び現場管理費率の補正(施工地域等)については、対象地区ごとに設定する。

共通特記仕様書

1. この共通特記仕様書は、公益財団法人とちぎ建設技術センターが発注する工事に係る工事請負契約書及び設計図書の内容について、統一的な解釈及び運用を図るとともに、その他必要な事項を定め、もって契約の適正な履行を図るものである。

2. 仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。

(●:適用する ○:適用しない)

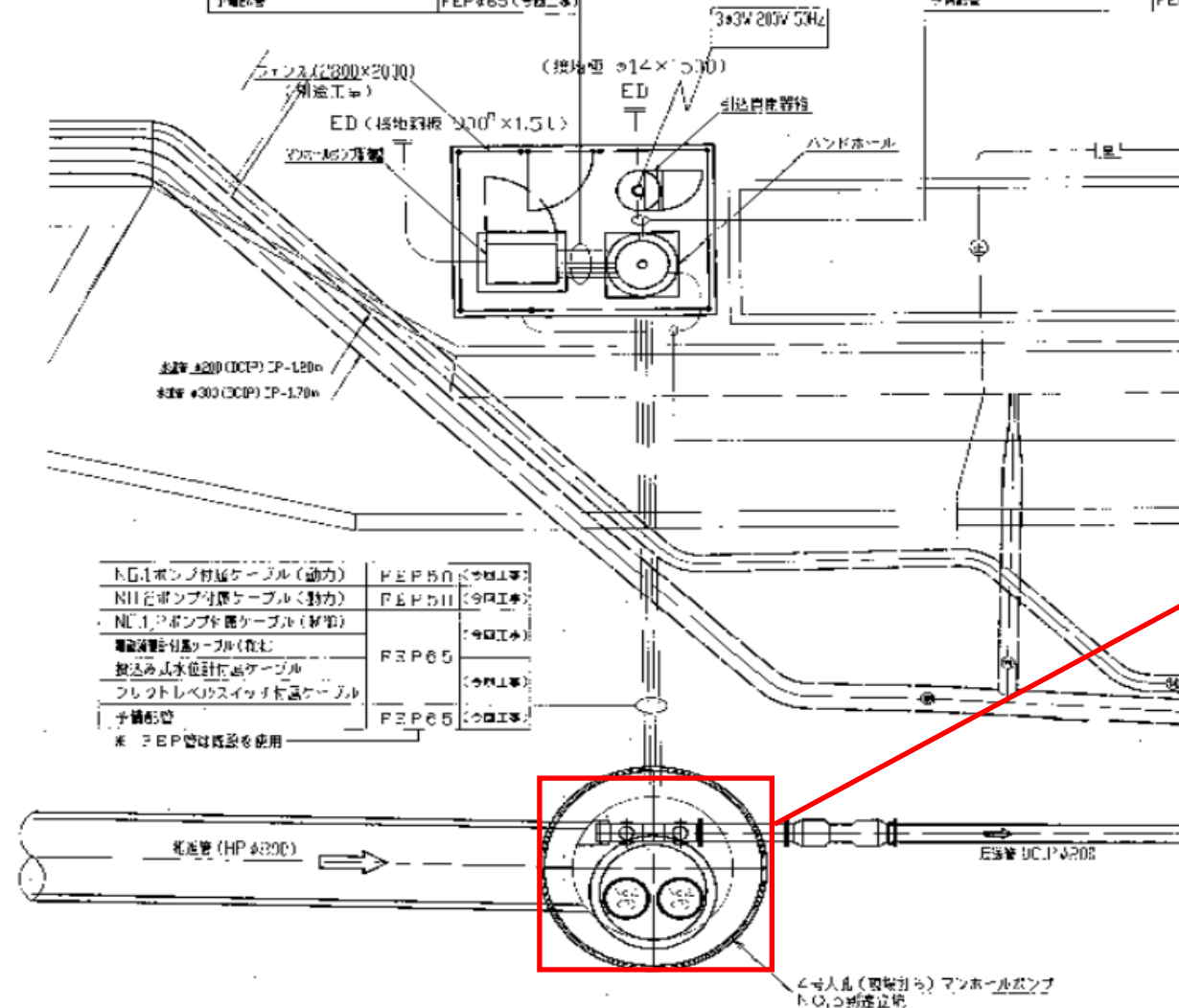
項 目	事 項
余裕期間設定工事	● 本工事は、余裕期間設定工事である。 次に示す余裕期間設定工事実施要領のほか、以下の事項を参考とすること。 実施要領URL(県HP) https://www.pref.tochigi.lg.jp/h01/pref/nyuusatsu/koukyou/documents/20250325142051.pdf 1 主任技術者又は監理技術者の専任期間等 (1)契約締結日の翌日から工事着手日の前日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の配置を要さない。 (2)工事着手日から工事目的物引渡し日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の配置を要する。 (3)工事着手日から現場着手日の前日までの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要さない。 (4)事務手続き及び後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要さない。 (5)工事完成後、工事目的物の引渡し日までの期間については、原則、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要さない。 2 工期 本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者が示した工事着手期限日までの間(工事着手ができない期間を除く)で、受注者は工事着手日を任意に設定することができる。 なお、受注者は、契約を締結するまでの間に、余裕期間設定工事試行要領で定める「工事着手通知書(別記様式)」により、発注者へ工事着手日を通知すること。 余裕期間内は、主任技術者又は監理技術者の配置は要さない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことはできるが、測量、資材の搬入、仮設物の設置等、工事の着手を行うことはできない。 なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責任により行うことになる。 工事着手期限: 契約締結日の翌日から起算して30日を経過する日の翌日まで 3 CORINSへの登録(栃木県土木工事共通仕様書 1-1-5CORINSへの登録) CORINSへの登録は、契約後10日以内(土日祝日を除く。)に行うこと。 また、技術者の従事期間は、実工期の期間(契約書に記載されている工期)をもって登録すること。(余裕期間を含まないことに留意する。)
週休2日制工事	○ 1 本工事は「栃木県県土整備部週休2日制工事実施要領」に基づく工事である。(発注者指定型) ● 2 本工事は「栃木県県土整備部週休2日制工事実施要領」に定める受注者の希望により週休2日制工事が実施できる工事である。(受注者希望型) 要領URL: 県HP https://www.pref.tochigi.lg.jp/h02/pref/shuukyuu/documents/20241129113837.pdf



工事名	原宿ポンプ場 外 機械設備修繕工事
図面名	工事箇所（位置図）
	原宿マンホールポンプ場 位置図

平面图 S=1:40

ケーブル(配地帯-2)	
G3JV CVT0B ² -3C	FEP600 (今田工)
予備配管	FLP600 (今田工)
予備配管	FLP600 (今田工)



原宿マンホールポンプ
工事箇所

4-1	国産補助流塔下水路工事	5-2	汚水運来ポンプ
品名	国産補助流塔下水路工事	仕様	板工段下水送管工事 板工
J04J00092		数量	1
4-2	金丸	5-3	板工ポンプ地盤
1.29	17.7	5-4	電気設備
5-1	金丸	5-5	配線詳細図
5-6	板工 井口	5-7	
5-8	板工 井口	5-9	
5-10	板工 井口	5-11	
5-12	板工 井口	5-13	
5-14	板工 井口	5-15	
5-16	板工 井口	5-17	
5-18	板工 井口	5-19	
5-20	板工 井口	5-21	
5-22	板工 井口	5-23	
5-24	板工 井口	5-25	
5-26	板工 井口	5-27	
5-28	板工 井口	5-29	
5-30	板工 井口	5-31	
5-32	板工 井口	5-33	
5-34	板工 井口	5-35	
5-36	板工 井口	5-37	
5-38	板工 井口	5-39	
5-40	板工 井口	5-41	
5-42	板工 井口	5-43	
5-44	板工 井口	5-45	
5-46	板工 井口	5-47	
5-48	板工 井口	5-49	
5-50	板工 井口	5-51	
5-52	板工 井口	5-53	
5-54	板工 井口	5-55	
5-56	板工 井口	5-57	
5-58	板工 井口	5-59	
5-60	板工 井口	5-61	
5-62	板工 井口	5-63	
5-64	板工 井口	5-65	
5-66	板工 井口	5-67	
5-68	板工 井口	5-69	
5-70	板工 井口	5-71	
5-72	板工 井口	5-73	
5-74	板工 井口	5-75	
5-76	板工 井口	5-77	
5-78	板工 井口	5-79	
5-80	板工 井口	5-81	
5-82	板工 井口	5-83	
5-84	板工 井口	5-85	
5-86	板工 井口	5-87	
5-88	板工 井口	5-89	
5-90	板工 井口	5-91	
5-92	板工 井口	5-93	
5-94	板工 井口	5-95	
5-96	板工 井口	5-97	
5-98	板工 井口	5-99	
5-100	板工 井口	5-101	
5-102	板工 井口	5-103	
5-104	板工 井口	5-105	
5-106	板工 井口	5-107	
5-108	板工 井口	5-109	
5-110	板工 井口	5-111	
5-112	板工 井口	5-113	
5-114	板工 井口	5-115	
5-116	板工 井口	5-117	
5-118	板工 井口	5-119	
5-120	板工 井口	5-121	
5-122	板工 井口	5-123	
5-124	板工 井口	5-125	
5-126	板工 井口	5-127	
5-128	板工 井口	5-129	
5-130	板工 井口	5-131	
5-132	板工 井口	5-133	
5-134	板工 井口	5-135	
5-136	板工 井口	5-137	
5-138	板工 井口	5-139	
5-140	板工 井口	5-141	
5-142	板工 井口	5-143	
5-144	板工 井口	5-145	
5-146	板工 井口	5-147	
5-148	板工 井口	5-149	
5-150	板工 井口	5-151	
5-152	板工 井口	5-153	
5-154	板工 井口	5-155	
5-156	板工 井口	5-157	
5-158	板工 井口	5-159	
5-160	板工 井口	5-161	
5-162	板工 井口	5-163	
5-164	板工 井口	5-165	
5-166	板工 井口	5-167	
5-168	板工 井口	5-169	
5-170	板工 井口	5-171	
5-172	板工 井口	5-173	
5-174	板工 井口	5-175	
5-176	板工 井口	5-177	
5-178	板工 井口	5-179	

工事名	原宿ポンプ場 外 機械設備修繕工事
図面名	原宿ポンプ場
	平面図

DSMZF型水中ポンプ製作仕様書

DOC. NO. J04E009202-101 REV.1

注文主	栃木県下水道管理事務所 殿	御 使 用 先	巴波川 2 号幹線マンホールポンプ場 殿
図番	J04E009202	機 名	150DSMZF
台 数	2		
仕 様	(ポンプ)	(電動機)	
用 液 / 温 度	汚水 / 25℃	周 波 数 / 極 数 / 相	50Hz / 4P / 3相
度	1.0 kg/l	定 格 出 力	11 kW
出 し 量	1.98 m ³ /min	定 格 電 圧	200 V
操 程	17.7 m	定 格 電 流	54 A
転 速 度 (同期)	1500 min ⁻¹	効 率 (全 負 荷 時)	※ 72.4 %
配 置 方 向 (電動機側から見)	C.W.	力 率 (全 負 荷 時)	※ 83.4 %
水 圧 試 験 圧 力	1.2 MPa	始 動 電 流 (直 入 時)	※ 404 A
※ (ポンプ+電動機)	3.45 kg・m ²	絶 縁 種 別	F 種
※ 容 積 効 率	3 回 / h	始 動 方 式	スターデルタ
新 造	(ポンプ)	(電動機)	
ン プ 型 式	水中スクリー式渦巻ポンプ	種 類	乾式
ン プ 型 番	BTN	固 定 子 コ イ ル 絶 縁	ワニス
数	1段	軸 受	玉軸受
ン ベ ラ 型 式	スクリー	軸 封 方 式	ダブルメカニカルシール
ー シ ン グ	シングルボリュート		
※ 軸受、スラスト軸受	モータ内蔵		
材 料	(ポンプ)	(電動機)	
ン ベ ラ	SCS13	ブ ラ ケ ッ ト	FC200
ー シ ン グ	FC250	フ レ ー ム	FC200
込 カ バ ー	FC250	軸	SUS403
耐 腐 品 (数量/1台分)		備 考	
動力用ケーブル	2PNCT	丸 形 4 心 5.5 mm ² × △25 m × 1 本	
動力用ケーブル	2PNCT	丸 形 3 心 5.5 mm ² × △25 m × 1 本	
保護用ケーブル	2PNCT	丸 形 4 心 2 mm ² × △25 m × 1 本	
上 用 鋼	SUS304	10 m	1 組
送 込 ノ ズ ル	SUS304		1 組
送 込 ジ ョ ウ ゴ			1 組
電 源 式 運 成 計		φ100×3/8 (-0.1MPa× 0.4MPa)	1 組
※ 着脱曲調	FC250	JIS10Kフランジ	1 組
※ 基礎ボルト	SUS304		4 本
※ ドリルパイプ固定金具	SUS304		1 組
※ ドリルパイプ	SUS304	2 B 3.5 m × 4 本、4 m × 2 本	
※ ドリルパイプ中間サポート	SUS304		2 組
※ 予 備 回 程		全台数に付き 1 組	
予 備 品 (数量/全台数分)		備 考	
※ ドリルパイプ		2 台分	
※ ドリルパイプ用保護装置は、静止形保護装置として下記に示す特性と同等またはそれ以上のものとしてください。			
(1) 過負荷保護 定格電流の120%以上で動作すること。			
(2) 過電流保護 始動電流(直入時)で5秒以内に動作すること。			
(3) 欠相時に動作すること。			
※ 上記の数量は、設計計画値で保証値ではありません。			

既設 交換対象 水中ポンプ

新設は同機種のポンプに交換

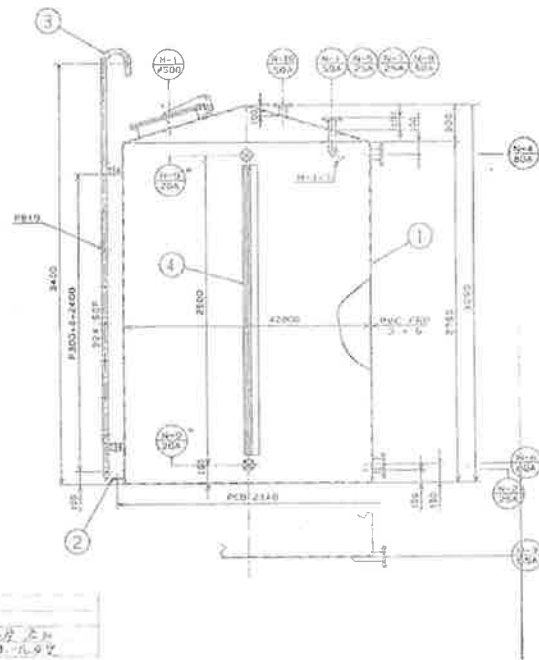
着脱装置は既設を使用

ポンプ交換にあたり、ケーブル端子の着脱あり

工事名	原宿ポンプ場 外 機械設備修繕工事
図面名	原宿ポンプ場
	ポンプ仕様



工事名	原宿ポンプ場 外 機械設備修繕工事
図面名	工事箇所 (位置図)
	巴波川浄化センター 位置図



型式：立形1階建
容積率：8㎡（有効）
床面積：12分床
寸法：2000 x 2550H
土質：内面PVC+3 t FRP
色調：樹木色：2.506/3
点検梯子：2.506/3
重量：約470kg
基礎：1基

1. ノズルの突出は100mmとする
2. 直列型突出並付の目盛はm表示とする

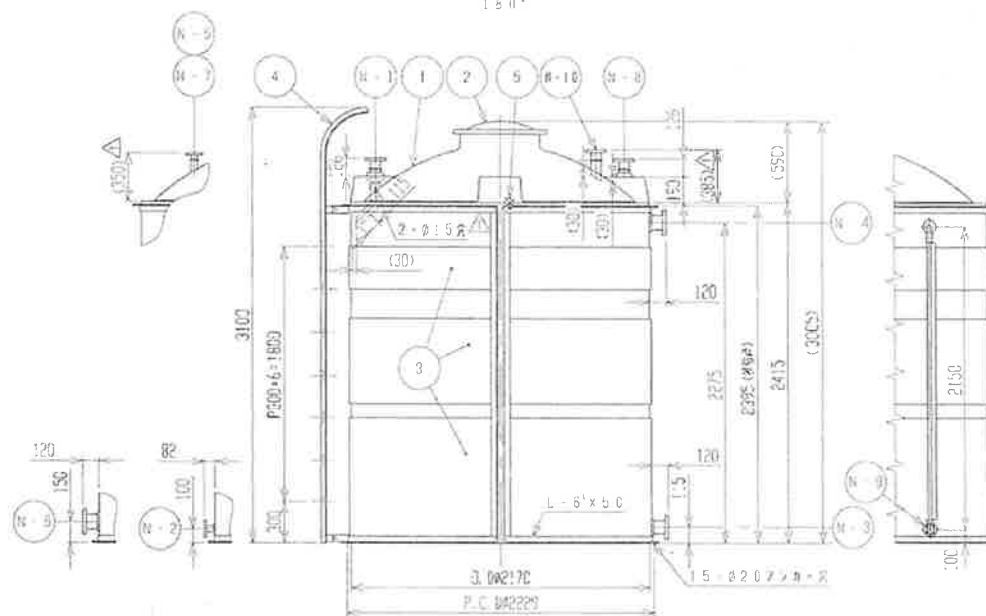
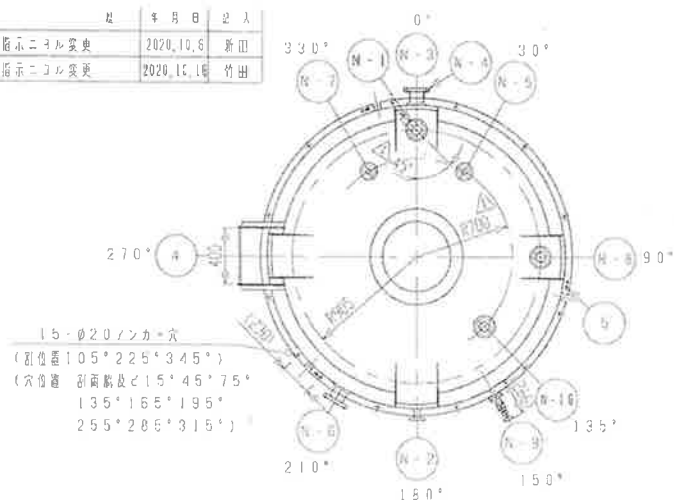
ノズルリスト					
番号	名 称	口 径	数	備 考	
N-1	噴 霧 入 座	50A	1	JIS 10k	
2	霧 出 口	25A	1		
-3	散 霧 座	65A	1		
-4	オ パー フロ	80A	1		
-5	散 霧 リ 座	25A	1		
6	霧 出 口	80A	1	噴霧器用	
7	給 水 座	25A	1		
-8	高 圧 管 座	50A	1		
-9	高 圧 管 座	20A	2	噴霧器用	
N-10	噴 霧 座	50A	1	JIS 10k	
M :	マンホール	#500	1		

5	品 名	SS4001FRP	2	
4	添 付 品	PVC	1	保管者: 目録帳付
3	点 検 者	SS400	1	32A 56P, 415
2	フ ン カ ー	SS4001FRP	4	
1	名 義	PVC/FRP	1	
部 品 名 義 材 質 数 検 数				
5	時 間	三 機 工 業 株 式 会 社 殿		
4	場 所	巴 達 利 中 心 股 向		
3	品 名	大 東 亜 有 限 公 司 (No. 1)		
2	日 付	1/25/14	品 番	N-96277-01
1	日 付	8・3・26	品 番	N-96277-01

日 東 化 工 機 株 式 会 社

工事名	原宿ポンプ場 外 機械設備修繕工事
図面名	既設 FRPタンク (撤去 処分)

号	表	尺	年月日	記入
△	資材取揃示ニール変更		2020.10.6	新田
△	資材取揃示ニール変更		2020.11.16	竹田



タンク本体寸法公差: 1/10, 5%			
付属品取揃示ニール変更			
フランジ取揃: 1/10, 5%		フランジ取揃: 1/10, 5%	
フランジ取揃: 1/10, 5%		フランジ取揃: 1/10, 5%	
フランジ取揃	フランジ取揃	フランジ取揃	フランジ取揃
	フランジ取揃	フランジ取揃	フランジ取揃
	フランジ取揃	フランジ取揃	フランジ取揃
	フランジ取揃	フランジ取揃	フランジ取揃
フランジ取揃: 1/10, 5%			

- 注記 1. 耐腐: 50 仕様
 2. 耐山ノズル出で法ハ タンク本体取揃示ニール。
 3. フランジ 先リナハ 禁止ナキ。
 4. M16x230Lケミカルノソカ=ボルト (SUS304 型) 15 本取揃示ニール。

N-10	フランジ取揃	50	PVC	1	10° (10°) (VP000)
N-9	フランジ取揃	20	PVC	1	10° (10°) (VP000)
N-8	フランジ取揃	50	PVC	1	10° (10°) (VP000)
N-7	フランジ取揃	25	PVC	1	10° (10°) (VP000)
N-6	フランジ取揃	80	PVC	1	10° (10°) (VP000)
N-5	フランジ取揃	25	PVC	1	10° (10°) (VP000)
N-4	フランジ取揃	80	PVC	1	10° (10°) (VP000)
N-3	フランジ取揃	65	PVC	1	10° (10°) (VP000)
N-2	フランジ取揃	25	PVC	1	10° (10°) (VP000)
N-1	フランジ取揃	50	PVC	1	10° (10°) (VP000)
5	フランジ取揃	M16	SUS304	3	フランジ取揃
4	フランジ取揃		SUS304	1	フランジ取揃
3	フランジ取揃	フランジ取揃	SUS304	1	フランジ取揃
2	フランジ取揃	フランジ取揃	SUS304	1	フランジ取揃
1	フランジ取揃	フランジ取揃	SUS304	1	フランジ取揃
品名	フランジ取揃	フランジ取揃	フランジ取揃	フランジ取揃	フランジ取揃

(参考)

新規設置

ポリエチレンタンク

(容量 8 m³)

工事名	原宿ポンプ場 外 機械設備修繕工事
図面名	新設 ポリエチレンタンク (参考)

名 称(品 名)	寸 法・仕 様	呼 称	数 量
タンク基礎工事 (φ2600)			
既存基礎コンクリート解体	2300φ×80H	式	1
防塵飛散防止散水		式	1
コンクリートがら積込運搬費	2t車	式	1
コンクリートがら処分費		式	1
ワイヤーメッシュ敷	2600φ R加工	式	1
アール型枠組立解体	2600φ×100H	式	1
コンクリートポンプ圧送	配管共	式	1
基礎コンクリート材料 FC21	2600φ×100H	m ³	1
基礎コンクリート打設手間	0.6m ³	式	1
天端コンクリート金ゴテ押え	5.3m ²	式	1
床耐薬品塗装#7000	6.2m ²	式	1
養生費		式	1
機械器具損料		式	1
運搬費		式	1

複合工

タンク基礎工事 概要

工事名	原宿ポンプ場 外 機械設備修繕工事
図面名	タンク基礎工事 概要

事務所 設計書名 変更回数	公益財団法人とちぎ建設技術センター 実施設計書 0	当初 第 07-02-03 号
適用単価区分 適用単価地区 単価適用日	実施単価 栃木土木事務所管内 07.05.10(0)	
諸経費体系 ファイル名	下水道用設計標準歩掛表ー第2巻 ポンプ場・処理場ー 原宿マンホールポンプ場外機械設備修繕工事	
	当 世 代	前 世 代
前払い率 工種 設計技術費 契約保証方法 週休二日補正区分 消費税の率	40% 機械設備 計上しない 金銭的保証(補正值0.04%適用) 補正なし 消費税等率10%適用	

この「参考資料」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第一条にいう設計図書ではない。

数量計算表

原宿マンホールポンプ場外機械設備修繕工事

[illegible]

公表単価一覧表

工事名:原宿マンホールポンプ場外機械設備修繕工事

項 目	細 別	単位	単価:円	適用区分			備考
				機	労	材	
No.1主ポンプ（原宿マンホールポンプ場内）							
【機器費】							
水中ポンプ	1. 98m³/分	式	11,400,000				○
機器調整費		式	143,000				○
【労務費】							
No.1主ポンプ		式	903,400		○		
【機械経費】							
トラッククレーン	4. 9t	式	62,400	○	○		
【準備費】							
産廃廃棄物処分費	発生材の運搬、処分	式	69,300	○	○	○	
次亜塩素酸ナトリウムタンク（巴波川浄化センター内）							
【機器費】							
ポリエチレンタンク	8m³	式	2,780,000				○
【直接材料費】							
ダイヤフラムバルブ	10K25A	個	24,700				○
ダイヤフラムバルブ	10K65A	個	62,600				○
ダイヤフラムバルブ	10K80A	個	78,500				○
可とうフランジ	10K25A	個	95,300				○
可とうフランジ	10K65A	個	134,000				○
可とうフランジ	10K80A	個	141,000				○
Yストレーナー	10K25A	個	15,200				○
【労務費】							
次亜塩素酸ナトリウムタンク		式	1,540,400		○		

公表単価一覧表

工事名:原宿マンホールポンプ場外機械設備修繕工事

項 目	細 別	単位	単価:円	適用区分			備考
				機	労	材	
【機械経費】							
ラフタークレーン	16t	式	38,800	○	○		
【複合工費】							
タンク基礎工事		式	814,000		○	○	
処理水配管工事		式	294,000		○	○	
タンク液位計移設工事		式	196,000		○	○	
【準備費】							
産廃廃棄物処分費	発生材の運搬、処分	式	133,000	○	○	○	

(備考)

- 1 本表に掲載されている単価は、見積り及び特別調査により決定したものである。
- 2 適用区分に○印があるものは、下記の単価を示す。
「機」機械器具等の損料または賃料
「労」労務費
「材」材料費